問屋町 TONYA Business Community MACHI

# 青森総合卸センターニュース

編集・発行　協同組合青森総合卸センター　〒030-0131　青森市問屋町２丁目17-3　☎017-738-4711　FAX017-738-7323
URL　http://www.tonyamachi.com　E-mail info@tonyamachi.com　発行／平成25年８月30日

## 過去最高の４４０名が参加
### 第21回問屋町納涼パーティー

問屋町の夏の一大イベントである「問屋町納涼パーティー」が７月26日（金）、午後７時からホテル青森で盛大に開催された。

21回目を数える同パーティーには４４０名が参加し、参加人数の最多記録を更新。平成16年度開催時には１７０名であった参加人数が年々増加し、10年で約２・６倍にもなった。

会場前の廊下は午後６時30分の開場を待つ参加者で溢れ、開場となると、どっと人が流れ込み、市内最大級の同ホテル宴会場がすぐに満杯となった。

パーティーは、元木理事長のあいさつの後、熊谷労務対策委員長の乾杯の音頭でスタート。会場中央に用意されたビュッフェ形式の料理は一瞬でなくなり、２回、３回と補充された。また、今回もサントリービア＆スピリッツ㈱から『樽生アドバイザー』が派遣され、プロが注いだ生ビールが参加者の喉を潤した。

テーブル対抗ゲームでは、全員参加の「問屋町大ジャンケン大会」が行われ、問屋町ナンバーワンのジャンケン強者を競い合い、会場内はヒートアップ。勝負が決するたびに、会場のあちこちから歓声と悲鳴があがった。

会場を更に盛り上げたのは恒例の大抽選会。今回も67社もの組合員企業から多くの協賛品の提供を受け、用意した賞品数は２５０を超えた。当選番号がコールされるたびに参加者は一喜一憂。抽選会の最後には、目玉賞品特別抽選会も実施。当選者は液晶テレビやビデオカメラ、ステーキ肉などの豪華賞品を手にし、満面の笑みを浮かべた。

今回のパーティーでも、問屋町従業員モニターが、パーティーの企画やゲームのアシスタントを務めるなど、パーティーの成功に一役買った。

組合では11月に、これまでの「問屋町従業員ふれあいパーティー」の名称を変更し、「ハロウィンパーティー」を開催する計画である。納涼パーティー同様、組合員に喜ばれるイベントを目指す。

問屋町納涼パーティー参加者全員での大ジャンケン大会

豪華賞品を手にし喜ぶ目玉賞品当選者

## はまなす会館の環境整備進む

青森市はまなす会館前庭の樹木が伐採され、明るい空間に生まれ変わった。

同会館前庭は、会館利用者の憩いのスペースとして設置されたが、植栽されていた樹木が大きく成長し、それにより会館が覆い隠され、問屋町大通りからは会館全景を視認することが困難な状況であった。初めて訪れた人にとっては場所がわかりづらいとの意見も寄せられ、近年の懸案事項となっていた。

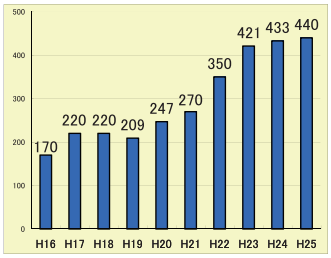
そこで、同会館を管理・運営する（一財）青森市産業振興財団では、景観も考慮し、前庭の樹木を一部を除いて伐採。鬱蒼としていた環境が一変したことにより、景観が格段に向上し、非常にスッキリとした爽やかな印象を与えている。

併せて、同会館北側駐車場周辺の樹木も伐採され、駐車場を再整備。収容台数が増加し、利便性も向上した。

前庭は、芝生を植栽するなどの更なる整備が進められる計画で、問屋町の新たな憩い・癒しのスペースとなることが期待される。

整備後は会館の姿もはっきりと

整備前



納涼パーティー参加者数推移

## 共同物流センター屋根改修工事など承認
### 第3回理事会

老朽化により雨漏りが発生していた共同物流センター並びに組合管理施設の屋根改修工事等を審議する第3回理事会が7月26日（金）、問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

主な案件審議は次のとおり

案件一．事業委員会からの意見について

案件二．労務対策委員会からの意見について

昨年度開催し好評であった婚活パーティーや新規事業であるフルーツバイキング（果物狩り）の開催が承認された。

また、保育所設置検討委員会の検討結果については、ニーズ調査の結果、保育所設置を見送ることが承認された。

案件三．環境対策委員会からの意見について

案件四．企画情報委員会からの意見について

案件五．平成25年度卸商業団地機能向上支援事業の実施について

案件六．組合員の合併の承認について

案件七．脱退組合員の跡地処理並びに組合施設の賃貸承認について

案件八．組合員跡地買取資金の借換えについて

案件九．平成25年度第4回理事会の日程等について

## 保育所設置見送る
### 保育所設置検討委員会

組合では、平成24年度に保育所設置検討委員会を立ち上げ、当団地への保育所設置の可能性について検討してきた。

同委員会では市内の保育所利用状況や国の制度を調査・検討するとともに、保育所設置に向けたニーズ調査を実施。調査対象は乳幼児を養育する従業員で、組合員のみならず隣接する青森中央卸売市場にも範囲を広げ、72社、201名から回答を得た。

アンケート調査結果では、保育所等を利用する際重視するのは「場所」との回答が149名で最多。実際に保育所等を利用している方に、現在利用している場所を伺うと、「自宅の近く」との回答が112名（68％）と最も多く、「職場の近く」との回答は18名（11％）に過ぎなかった。また、当団地に保育所が設置されたら「ぜひ利用したい」との回答も22名（11％）にとどまった。

この調査結果を受け保育所設置検討委員会では、問屋町で働く方の需要はあまり見込めず、保育所設置の必要性を見出すことが難しいとの判断から、今回は設置を見送ることとし、理事会に上申した。

組合では今後、近隣の保育所等の空き情報や新年度の入園案内等を当ニュースや組合ホームページに掲載するなどの情報提供を行っていく。

## 中小企業金融円滑化への青森県の取組みについて学ぶ
### 青森県流通団地連絡協議会

青森県流通団地連絡協議会では、7月9日（火）、第1回団地組合職員研修会を開催した。ラ・プラス青い森で開催された同研修会には、県内各地の卸団地に加え、組合指導機関である青森県商工労働部、青森市経済部、青森県中小企業団体中央会から計21名が出席した。

研修の講師は青森県商工政策課上沢グループマネージャーが務め、県内中小企業金融円滑化に向けた青森県の取組みについて学んだ。

上沢マネージャーは「県内の中小企業者や金融機関融資担当者へ行ったアンケートでは、融資にあたり中小企業と金融機関とでは重要視しているポイントに大きな隔たりがみられた」と話し、双方が相互理解促進に向け取り組むべき課題や支援の方向性について説明した。

説明後には、各団地の現状に照らし合わせながら活発な意見交換が行われた。

団地組合職員研修会

## あおぎんカードサービス合併記念キャンペーン

㈳青森総合卸センターの組合員企業従業員を対象に発行する年会費永年無料の問屋町ゴールドカード。同カード運営会社である「あおぎんディーシーカード㈱」は、合併により7月1日をもって「あおぎんカードサービス㈱」となった。これを記念し、同社では、合併記念キャンペーンを7月16日から9月15日まで実施している。

キャンペーンでは、ホテルペア宿泊券や県内の地酒、ギフトカードなどの賞品が、抽選で330名に当たる。応募条件は、キャンペーン期間中にショッピングで問屋町ゴールドカードを1万円以上利用すること。応募方法は、あおぎんカードサービスのサイト（http://www.aogin-cs.co.jp）にアクセスし、『合併記念キャンペーン』のバナーをクリック、応募フォームに必要事項を入力する。当選者には、平成25年11月上旬に賞品が発送される。

年会費永年無料の問屋町ゴールドカードをお持ちでない方は、この機会にぜひ入会し、キャンペーンに応募して豪華賞品を手にしていただきたい。

問屋町ゴールドカードに関するお問い合わせは、卸センター業務部（☎738－4711）まで。

## 問屋町だんしん

**①公共施設等視察会**

日　時　9月26日（木）
午前9時30分～
午後5時30分
※問屋町会館集合・解散

視察先　弘前市中心市街地（ヒロロ及び土手町周辺）

参加料　1，500円

定　員　30名

〆　切　9月19日（木）

**②フルーツバイキング（くだもの狩り）**

日　時　9月22日（日）
午前10時～午後1時
※現地集合・解散

場　所　青森観光りんご園（青森市幸畑）

参加料　大人　1，500円
小人　500円
※小学生まで

定　員　30名
※組合員従業員とその家族に限る

〆　切　9月13日（金）

内　容
・園内果物（桃・りんご・栗等）食べ放題
・生ジュース作成体験
・バーベキュー（昼食）

どちらもお問合せ・お申込みは卸センター業務部（☎738－4711）まで。

氷温はいつも新鮮！　水/熱/冷
大青工業株式会社
http://www.taiseiaomori.co.jp
■設計施工
●氷温システム
●凍結・冷蔵設備
●野菜・予冷設備（真空/差圧強制冷却）
●真空凍結乾燥設備
●廃熱回収装置
●CA設備　●自動製氷設備
●衛生・給排水設備　●空調設備
本社　〒030-0131　青森市問屋町一丁目9番30号
☎017(738)2131　FAX 017(738)9333
E-mail：info@taiseiaomori.co.jp
八戸営業所　〒039-1165　八戸市石堂三丁目9番13号
☎0178(20)1561　FAX 0178(20)1562
ISO9001 認定取得

いつもそばに　地域と共に　…未来へ
株式会社 吉田産業青森支店
〒030-0812 青森市堤町1丁目8番5号
TEL.017-777-5111 FAX.017-773-1953
URL● http://www.yoshidasangyo.co.jp/
ISO 9001 JMAQA-831　ISO 14001 JMAQA-E409

## 組合員イベント情報

### ◎第10回新築増改築フェア in あおもり

主　催　㈱吉田産業
日　時　９月７日（土）午前10時～午後５時
　　９月８日（日）午前10時～午後４時
場　所　青森産業会館
入場料　無　料
内　容　２０１３年モデルの新商品から最新のオール電化設備まで一堂に勢ぞろい

お問い合わせは、吉田産業青森支店建材課（☎７２８－２１１１）まで。

## 業務報告

### …主要事項…

**７月**

１日▽市商工会議所会頭林光男さんの喜寿を祝う会
２日▽県中央会会長副会長会議
３日▽第４回保育所設置検討委員会
▽青森中金会総会・講演会
４日▽商団連事務局長会世話人会
９日▽第２回集団健康診断（～11日）
▽県総合防災訓練調整会議
▽県流通団地連絡協議会第１回団地組合職員研修会
10日▽第１回事業委員会
11日▽商工中金翔友会総会
12日▽東北卸商業団地連絡協議会総会
16日▽金融審査会
17日▽第２回環境対策委員会
18日▽㈱青森共同計算センター取締役会
22日▽大星神社例大祭
23日▽安協問屋町支部第１回街頭指導
▽第２回労務対策委員会
25日▽第１回企画情報委員会
▽商団連組合職員研修会（～26日）
▽青森公立大学産学連携協議会
26日▽第３回理事会
▽問屋町政経クラブ幹事会・総会
▽第21回問屋町納涼パーティー
30日▽津軽海峡ブランド博運営委員会
31日▽県中央会知事と商工三団体との懇談会

### …問屋町ビジネススクール…

９日▼これから学ぶ会計・経理試算表編（１日目）
10日▼顧客の心をギュッとつかむ営業研修
11日▼これから学ぶ会計・経理試算表編（２日目）
18日▼仕事整理術の基本講座
23日▼会計・経理の基礎の基礎読解編（１日目）
25日▼会計・経理の基礎の基礎読解編（２日目）

## 経済雑感　第五十回

㈱青森銀行問屋町支店
支店長　松橋　義昭

『経済雑感シリーズ』第26弾は、㈱青森銀行問屋町支店の松橋支店長にご寄稿いただいた。

先般、２０１３年４月～６月の国内総生産（ＧＤＰ）は年率換算で２・６％増だったと発表された。首相は秋にも消費税増の決断を思わせるような発言をしているが、一方では慎重論も依然として根強く、動向が注目されるところである。

日本では長らく続いたデフレ状況下、競合激化により、モノ・サービスの価格は低下してきた。物価上昇目標を定めたアベノミクスは、日本人の価値観、あるいはモノ・サービスの適正な価値・価格ということについて考えるには良い機会なのではないだろうか。

食品を例にして考えてみる。冷凍ギョウザ事件や産地偽装事件などの食に関する事件が起こる度に安心・安全が声高に叫ばれて国内産への志向が高まるが、一方で価格は外国産並みの水準が求められる。ここに矛盾がある。安心・安全、国内産・国内製造を追及すれば、人件費などのコストも近隣アジア諸国よりも高いのは当然だという認識が必要だ。

毎日のように食卓に登場する代表的な食品に卵や納豆・豆腐がある。以前勤務していた支店で、採卵養鶏業、納豆・豆腐の製造業の会社と取引があり、それぞれ農場や工場を見学させてもらったことがあるが、いずれも安心・安全については最新のシステムで細心の注意を払って消費者のもとに届ける努力をしており、製造過程を知れば知るほど、卵が１パック１００円とか、納豆が３パックで60～70円、豆腐１丁50～60円などというのは度を越した価格下落だと感じるようになった。

㈱青森銀行
問屋町支店　支店長
松橋　義昭 氏

デフレ下における価格競争では、採算割れとなるような値引きを要求されることも少なくない。生産者や流通業者は血のにじむような努力をして低価格を実現してきた。しかしコスト削減には限界がある。ここで考えなくてはならないのは、私たちは消費者であると同時に生産者・労働者でもあるということだ。安さを追求しすぎることが、企業の度重なるコスト削減やリストラなど、雇用・所得の悪化を招き、更なる購買力低下につながるというデフレスパイラルに陥ってしまった。

日本はあまりにも急激な価格ダウンを図り過ぎた。産業界ではリストラによる日本の技術の海外流出という問題も起こっている。国内の産業・技術そして雇用を守るためには消費者も相応の負担を覚悟しなければならない。おいしいものを食べたい、良いサービスを受けたい、良い製品を手にしたい、その上で雇用・賃金も守りたいと思えば、それなりの対価を支払うべきだという認識に立たなければならないと思うのである。そういう点からも日本人の価値観は大きく変わってしまったのではないか。

（つづく）

鴨沢塗料株式会社
青森支店
日本ペイント特約店
■主要品目
塗料全般、塗料資材、塗装機、接着剤、各種テープ、溶剤類、他
青森支店　青森市問屋町一丁目12－４　TEL (017)738－1771㈹
E－MAIL：aomori@kamosawa.co.jp　FAX (017)738－1772

かねへい食品株式会社
代表取締役社長　齊藤　諭
青森市問屋町二丁目18－11　TEL（017）738－4341

㈲ファイナンシャル・サポート
青森市第二問屋町3丁目3-31
TEL 017-739-6538
FAX 017-762-2357
特定非営利活動法人　ラ・シャリテ
㈱ＭＴ・Community

「飲んで運転、お茶なら安全」
美容と健康にもおいしいお茶を
お茶・海苔　株式会社　宇治園
本　社　〒060-0032　札幌市中央区北2条東10丁目
TEL 011-241-5200
青森支店　〒030-0131　青森市問屋町2丁目12-25
TEL 017-738-4811　FAX 017-738-4946

## 卸団地組合職員研修会が今年も開催

全国の卸団地の上部団代である全国卸商業団地協同組合連合会（商団連）では、7月25日（木）・26日（金）の2日間、加盟卸団地の組合職員を対象とした研修会を東京で開催した。昨年に引き続き開催された同研修会には、29の卸団地から30名が参加し、当組合からは張山総務課長が出席した。

今回の研修テーマは「組合運営課題の対応策」や「BCP対策」、「高度化事業」など。㈳仙台卸商センターの浅野事務局長による「東日本大震災からの復興」と題した講話も行われた。

研修会では、各組合事業の成功例、失敗例についてのグループ討議も行われ、各々の団地で抱えている課題などを活発に意見交換しあった。

今回で2回目となる卸団地組合職員研修会だが、組合職員同士、様々な情報が共有でき、有意義な研修会となっている。

グループ討議の様子

## 大星神社例大祭・宵宮

旧暦の6月15日にあたる7月22日（月）、当卸団地の氏神様である大星神社にて例大祭が開催され、当組合の元木理事長をはじめ多数が出席し、神事がしめやかに執り行われた。

前日の21日（日）には宵宮が開かれ、大星神社の参道には多くの露店が立ち並び、観光通りの沿いの大鳥居から拝殿まで大勢の参拝客で溢れかえっていた。また、当日は神楽も奉納され、訪れた人は古式ゆかしい舞楽を堪能した。

大星神社は青森で最も古い神社と言われ、西暦792年に蝦夷鎮護の祈願所として創建された。坂上田村麻呂の伝説も残っており、ねぶた祭の諸説ある起源とも繋がる由緒ある神社である。また、境内には樹齢350年を超えるシダレザクラもあり、春には多くの花見客を集めている。

宵宮では参道にたくさんの参拝客が

## 組合員訪問

今回は、「お～いお茶」で有名な株式会社伊藤園青森支店の菊池支店長にお話を伺った。

同社は昭和41年の設立以来、お客様第一主義を経営理念に、自然・健康・安全・良いデザイン・おいしいの5つのコンセプトの下、日本でトップクラスの総合飲料メーカーに成長を遂げた。

主力のお茶分野では、茶葉から飲料まで取扱う。

「原料は国産を100％使用しています。良質な茶葉を安定的に確保するため、契約農家に栽培技術を提供し、収穫された茶葉は全量引き取る茶産地育成事業を推進しています。特に九州では、農協とタイアップし、大規模茶園経営を行っています。また、トレーサビリティを確立し、お客様自身が商品ごとに使用されている茶葉の産地を確認できるようにすることで、お客様に安心を提供しています」と教えてくれた。

新技術も次々と世に送り出してきた。世界初の缶入り煎茶やホット用ペットボトル、ペットボトルのお茶を濁らずクリアーに詰める技術は同社が生み出した。

海外にも進出し、日本の食文化である「お茶」を世界に発信し、新たな食文化の創造や生活提案をする「世界のティーカンパニー」を目指している。

「我が社はCSR活動を推進しており、社会貢献の分野では、東日本大震災の直後、売上本数1本につき1円を寄付し、約4億円を義援金に、3億円を岩手・宮城・福島の被災した児童への教育支援金としました。環境分野では、製品の製造過程で発生する茶殻を、紙や樹脂の製品にリサイクルするシステムを開発し、環境に配慮しています」と話した。

盛岡市出身の菊池支店長は、全国に拠点がある同社の中で、東北が主な赴任先だという。

「これまで東北各地を回りましたが、青森は街が大きく、街並みが綺麗。雪が多いのには大変驚きました。青森で最も印象深いのは青森ねぶたですね。東北で1番の祭りではないかと思います」と青森の魅力を語った。

趣味はゴルフに釣り。学生時代に励んでいたバスケットボールを社会人になってもしばらくは続けていたそうだ。

単身赴任中の今、健康維持のため、毎日お茶を欠かさず飲み、食事は自炊しているという。専らの楽しみは晩酌と笑顔で話した。

（52歳）

㈱伊藤園
青森支店 支店長
菊池 才枝（さえき） 氏

## 編集後記

第21回問屋町納涼パーティーは、お陰さまで今年も440人と記録更新しました。これで四百人超えが3年連続となりました。会場のキャパシティからは現在がほぼ上限です。しかし二百人に届かなかった十年前に比べると隔世の感があります▼理由は二面に記載のとおりですが、保育所設置計画を残念ながら見送ることとなりました。必要性・需要可能性が想定を大幅に下回っては仕方がありません▼転話題。平均寿命でわが青森県が男女とも全国最下位というのは周知のことですが。今回、全国の市区町村別で青森市・男性が76・5歳で、全国ワースト四番目だったことは、ショックでした▼男性ワースト3は①大阪市西成区72・4歳②土佐清水市75・6歳③大阪市浪速区75・9歳でした。▼もう一つワースト記録があります。青森県は健康寿命の男性ランキングでもワースト1でした。ちなみに女性は33位でした▼健康寿命とは、WHO（世界保健機関）が2000年に提唱した新しい寿命の指標。平均寿命から寝たきりや認知症などの介護状態の期間を差し引いて算出するもので、健康で暮らすことができる期間のことだそうです▼日本の健康寿命が、男女とも世界第1位なことは、慶賀すべきことですが、問題はわが青森県・市です▼汚名を返上するためには、飲酒・喫煙の全国1位も早急に返上し、全国平均を下回る健診率向上に全県を挙げて取組まなくてはいけないと考えますが（藤本）

新型定期預金
マイハーベスト
有利な金利設定 ＊
固定金利の半年複利
1年、2年、3年から期間が選べる
＊当金庫内の商品と比較した場合
●詳しくは店頭のチラシまたはホームページをご覧ください。
青森支店
〒030-0861
青森市長島 2-1-7
TEL 017-734-5411
人を思う。未来を思う。
商工中金